



国際社会及び 日本の主な動き

国際社会及び日本の主な動き

| | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 2014年 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 総理大臣 | 2012年12月26日～ 安倍晋三 | | | | | | | | | | | |
| 外務大臣 | 2012年12月26日～ 岸田文雄 | | | | | | | | | | | |

2014年1月1日～12月31日 (日付は現地時間)

| 日本関係 | | 国際関係 | |
|------|--|------|---|
| 1月 | | | |
| 7日 | 岸田外務大臣がスペイン及びフランスを訪問、初の日仏外務・防衛閣僚会合開催 (～10日) | 1日 | ラトビアが欧州単一通貨ユーロを導入 |
| 9日 | 安倍総理大臣がオマーン、コートジボワール、モザンビーク及びエチオピアを訪問 (～15日) | 12日 | バングラデシュでハシナ新政権発足 |
| 21日 | 岸田外務大臣がシリアに関する「ジュネーブ2」会議に出席 (～22日、スイス) 安倍総理大臣がダボス会議に出席 (～23日、スイス) | 15日 | 第2回シリア人道支援会合開催 (クウェート) |
| 25日 | 秋篠宮同妃両殿下がペルー及びアルゼンチンを御訪問 (～2月5日) 安倍総理大臣がインドを訪問 (～27日) | 23日 | 南スーダン政府と反政府勢力であるマシャール前副大統領派が敵対行為停止に合意 |
| | | 25日 | フィリピンと南部ミンダナオ島を拠点とするイスラム武装勢力モロ・イスラム解放戦線 (MILF) との和平交渉でMILFが武装解除で合意。40年以上続いた紛争に終止符 |
| | | 27日 | チュニジアの制憲議会が2011年1月の「自由と尊厳のための革命」後の民主的な新国家体制を規定した新憲法案を投票により承認。マルズーキ暫定大統領が新憲法に署名 |
| 2月 | | | |
| 1日 | 岸田外務大臣が第50回ミュンヘン安全保障会議に出席 (ドイツ) | 1日 | インドネシアのスマトラ島で火山噴火、2日までに15人が死亡 |
| 7日 | 安倍総理大臣が冬季五輪ソチ大会開会式に出席し、プーチン大統領と会談 (～8日、ロシア) 岸田外務大臣が米国を訪問 (～9日) | 7日 | 第22回冬季五輪ソチ大会開幕 (ロシア、～24日) |
| | | 11日 | 台湾・大陸委員会の王郁琦主任委員と中国國務院台湾事務弁公室の張志軍主任が公式会談。両当局双方の両岸事務担当トップの公式会談は1949年後初 |
| | | 17日 | 北朝鮮における人権に関する国連調査委員会 (COI) が、北朝鮮における人権侵害を、「人道に対する罪」に該当すると断定する最終報告書を公表 |
| | | 18日 | ウクライナで大規模反政府デモ発生。20日までに80人以上の死者を出す大規模衝突に発展 EU3+3とイランが最終合意に向けた核交渉を開始 |
| | | 22日 | ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領が行方不明となり政権崩壊、暫定政権発足 イタリアでレンツィ新政権発足 |
| | | 27日 | ウクライナでヤツェニューク新内閣発足 |

| 日本関係 | | 国際関係 | |
|------|---|------|--|
| 3月 | | | |
| 1日 | 岸田外務大臣がパレスチナ開発のための東アジア協力促進会合 (CEAPAD) に出席 (インドネシア) | 1日 | 中国雲南省の昆明駅で覆面をしたグループが周辺の人たちを刃物で無差別に切りつける事件が発生 (2日時点で29人死亡、143人負傷) |
| | | 3日 | G7首脳がロシアによるウクライナの主権と領土の一体性の明確な侵害を非難する共同声明を發出 北朝鮮が弾道ミサイルを発射 |
| | | 5日 | 中国の第12期全国人民代表大会 (全人代) 第2回会議が開幕 |
| | | 8日 | クアラルンプール発北京行きのマレーシア航空ボーイング777が午前2時ごろ消息を絶ち、日本を含む各国が捜索活動 |
| | | 15日 | ウクライナ南部のクリミア自治共和国のロシア編入を問う「住民投票」を無効とする国連安保理決議案にロシアが拒否権行使 |
| | | 16日 | ウクライナ南部のクリミア自治共和国において、ロシアへの編入を問う「住民投票」が行われた結果、賛成多数 |
| | | 18日 | ロシアは「住民投票」を受け、クリミア「編入」条約に署名 |
| 20日 | 日本と北朝鮮が非公式協議を行い、局長級による公式協議再開で一致 | | 中国と台湾が2013年6月に署名したサービス貿易取決めの審査方法に反対する数百人の学生らが台湾の立法院を占拠 (～4月10日) |
| 21日 | 岸田外務大臣がバングラデシュ及びミャンマーを訪問 (～25日) | | |
| 23日 | 安倍総理大臣が第3回核セキュリティ・サミット、G7首脳会合に出席 (～26日、オランダ・ハーグ) | 24日 | G7が首脳会談を開き (オランダ・ハーグ)、(ウクライナ情勢に関する) ハーグ宣言を採択 |
| | | 25日 | 第3回核セキュリティ・サミットでハーグ・コミュニケを採択し、閉幕 (オランダ・ハーグ) |
| | | 26日 | 北朝鮮が弾道ミサイルを発射 |
| 28日 | 岸田外務大臣が政府開発援助 (ODA) 大綱の見直しを発表 | 28日 | 第25回国連人権理事会において、日本とEUの共同提案による北朝鮮人権状況決議を賛成多数で採択 (7年連続7回目) |
| 30日 | 日朝政府間協議を開催 (～31日、中国・北京) | | |
| 31日 | 国際司法裁判所 (ICJ) 「南極における捕鯨」訴訟の判決言渡し | | |
| 4月 | | | |
| 1日 | 政府が「防衛装備移転三原則」を閣議決定 日本についてハーグ条約 (国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約) が発効 | | |
| 4日 | ギニアにおけるエボラ出血熱対策のための緊急無償資金協力 (約52万米ドル) 決定 (以後、流行国 (ギニア、シエラレオネ、リベリア) に対し総額1億7,000万米ドルを超える支援を実施) | 7日 | ウクライナ東部のドネツクで分離派武装勢力が「ドネツク人民共和国」の樹立を宣言 |
| | | 10日 | 国連安保理が中央アフリカに国連平和維持活動 (PKO) 部隊の派遣を承認する決議案を全会一致で採択 |
| 11日 | 第8回軍縮・不拡散イニシアティブ (NPTDI) 外相会合開催 (～12日、広島)。岸田外務大臣が出席 | 14日 | ナイジェリアでイスラム過激派「ボコ・ハラム」が学校を襲撃し276人の女子生徒を誘拐 |

国際社会及び日本の主な動き

| 日本関係 | | 国際関係 | |
|------|---|------|---|
| 23日 | オバマ米国大統領が訪日（～25日）し、安倍総理大臣と会談（24日） | 16日 | 韓国の旅客船セウォル号（乗客476人）が韓国南西部の珍島付近を航行中に沈没 |
| 25日 | 米誌タイムが「世界で最も影響力がある100人」の1人に安倍総理大臣を選出 | 24日 | イスラエルがパレスチナ解放機構（PLO）とイスラム原理主義組織ハマスが暫定統一政府の樹立で合意したことを受け、パレスチナとの和平交渉を中断すると発表 |
| 29日 | 安倍総理大臣がドイツ、英国、ポルトガル、スペイン、フランス及びベルギー（EU・NATO含む）を訪問（～5月8日） 岸田外務大臣が、デンマーク、カメルーン及びフランスを訪問（～5月8日） | 25日 | 米韓首脳会談において、強固な米韓同盟をアピール |
| | | 27日 | ウクライナ東部のルハンスクで親口分離派が「ルハンスク人民共和国」の樹立を宣言 |
| | | 28日 | 米国とフィリピンが防衛協力強化のための協定に合意 |
| | | 30日 | 中国新疆ウイグル自治区のウルムチ駅で武装グループによる爆発事件発生。3人死亡、79人負傷 国際通貨基金（IMF）がウクライナに対する総額約170億米ドルの金融支援を決定 |
| 5月 | | | |
| 4日 | 岸田外務大臣が第1回 TICADV 閣僚会議に出席（～5日、カメルーン） 岸田外務大臣が南スーダン情勢に関する関係国会合を主催（カメルーン） | 2日 | アフガニスタンで大規模地滑りが発生。2,500人以上が行方不明に 中国が南シナ海・西沙諸島周辺海域において、移動式掘削装置を設置。これを起因として、中国及びベトナムの船舶の衝突事案が発生するなど、事態が緊張化（7月16日に掘削装置の引き上げにより終息） |
| 7日 | 安倍総理大臣、岸田外務大臣、甘利経済財政担当大臣、茂木経済産業大臣、林農林水産大臣がOECD閣僚理事会に出席（フランス・パリ） | 11日 | ウクライナ東部のドネツク州及びルハンスク州で自治権拡大を問う「住民投票」実施 |
| | | 13日 | トルコ西部マニサ県ソマの炭鉱で大規模な爆発事故。17日時点で死者301人 |
| | | 17日 | ラオス北部で政府専用機が墜落し、ドゥアンチャイ副首相兼国防大臣他が死亡 |
| | | 20日 | タイ陸軍が国内全土に戒厳令を発令 中国の習近平国家主席とロシアのプーチン大統領が会談。「歴史の改ざんと戦後秩序の破壊」に反対する共同声明を発出 |
| | | 22日 | 中国の新疆ウイグル自治区ウルムチ市の朝市に車両が突っ込み爆発。39人死亡、94人負傷。中国公安省がテロと断定 タイ陸軍司令官を長とする国家平和維持評議会が国家の統治権の掌握を宣言（クーデター） シリア情勢を国際刑事裁判所へ付託する安保理決議案が中露の拒否権行使により否決 |
| 26日 | 日朝政府間協議を開催。北朝鮮側は、拉致被害者を含む全ての日本人に関する包括的かつ全面的な調査の実施を約束。（～28日、スウェーデン・ストックホルム） | 25日 | ウクライナで大統領選挙。ポロシェンコ元外相が当選 |
| | | 26日 | インドでモディ新政権発足 |

| 日本関係 | | 国際関係 | |
|------|---|------|---|
| 30日 | 安倍総理大臣が第13回シャングリラ・ダイアローグに出席（～31日、シンガポール） | 27日 | オバマ米国大統領がアフガニスタン駐留米軍を2016年末までに完全撤退させると発表 |
| 6月 | | | |
| 3日 | 安倍総理大臣がベルギー（G7ブリュッセル・サミット）、イタリア、パチカンを訪問（～7日） | 1日 | アッバス・パレスチナ自治政府大統領とガザ地区を支配するイスラム原理主義組織ハマスが暫定統一政府を発足 |
| 11日 | 第5回日豪外務・防衛閣僚会議（2+2）開催（東京） 国際海洋法裁判所（ITLOS）裁判官選挙が行われ、柳井俊二所長が再選 | 3日 | シリアで大統領選が行われ現職のアサド氏が再選 |
| 17日 | 皇太子殿下が「日本・スイス国交樹立150周年」に際してスイスを御訪問（～23日） | 7日 | ウクライナ・EU連合協定署名 |
| 18日 | 高円宮妃殿下がブラジル、コロンビア及びフランスを御訪問（～24日） | 8日 | エルシーシ氏がエジプト大統領に就任 |
| 24日 | 政府が「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」、成長戦略である『『日本再興戦略』改訂2014』、「規制改革実施計画」を閣議決定 | 10日 | 「イラク・レバントのイスラム国（ISIL）」がイラク北部の都市モースルを掌握 |
| 27日 | 秋篠宮同妃両殿下がザンビア及びタンザニアを御訪問（～7月8日） | 12日 | 第20回サッカー・FIFAワールドカップ開催（～7月13日、ブラジル） |
| 29日 | 岸田外務大臣がカンボジアを訪問（～30日） | 18日 | スペイン国王ファン・カルロス一世が退位 |
| | | 23日 | 化学兵器禁止機関（OPCW）・国連共同ミッションが、シリア政府が申告した全ての化学兵器の廃棄または国外搬出作業の完了を発表 |
| | | 25日 | 中国国務院台湾事務弁公室の張志軍主任が台湾を初訪問し、王郁琦大陸委員会主任委員と公式会談 |
| | | 29日 | 北朝鮮が弾道ミサイルを発射 ISILが世界のイスラム共同体を率いる「カリフ」にバグダーディ指導者を仰ぐ「国家」の樹立を宣言。組織名を「イスラム国」と改称 |
| 7月 | | | |
| 1日 | 政府が「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について」を閣議決定 日朝政府間協議を開催（中国・北京） | 3日 | 中国の習近平主席が韓国を国賓として訪問し、中韓共同声明を发出 |
| 6日 | 安倍総理大臣がニュージーランド、オーストラリア及びパプアニューギニアを訪問（～12日） | 8日 | ガザからの多数のロケット弾発射を受け、イスラエルがガザ地区に対し軍事作戦を開始 |
| 13日 | 第19回国際女性ビジネス会議開催（東京）。安倍総理大臣が出席 | 9日 | 北朝鮮が弾道ミサイルを発射 |
| 15日 | 岸田外務大臣がキルギス及びウクライナを訪問（～18日） | 13日 | 北朝鮮が弾道ミサイルを発射 |
| | | 15日 | BRICS首脳会合開催（ブラジル）（～16日） |
| | | 17日 | マレーシア航空のアムステルダム発クアラルンプール行きボーイング777がウクライナ東部ドネツク州で墜落。乗客乗員298人全員が死亡 |

国際社会及び日本の主な動き

| 日本関係 | | 国際関係 | |
|------|--|------|---|
| 23日 | 世界人道サミット北・南東アジア地域準備会合開催（東京）。岸田外務大臣が出席 | 19日 | EU3+3とイランが核問題に関する交渉を2014年11月24日まで延長 |
| 25日 | 安倍総理大臣がメキシコ、トリニダード・トバゴ、コロンビア、チリ及びブラジルを訪問（～8月4日） | 21日 | 国連安保理がマレーシア航空機墜落を非難する決議を全会一致で採択 |
| 31日 | 岸田外務大臣がベトナムを訪問 | 23日 | 台湾のトランスアジア航空国内便が澎湖島で着陸に失敗、墜落。乗員・乗客51人が死亡 |
| | | 26日 | 北朝鮮が弾道ミサイルを発射 |
| | | 27日 | ギニア、リベリア及びシエラレオネでエボラ出血熱の感染拡大、WHOが729人死亡と発表。過去最大の流行 |
| 8月 | | | |
| 9日 | 岸田外務大臣がASEAN関連外相会議に出席（～11日、ミャンマー） | 3日 | 中国雲南省北東部でマグニチュード6.5の地震が発生。8日時点で死者617人、行方不明者112人 |
| 11日 | 岸田外務大臣がインドネシアを訪問（～12日） | 4日 | 世界銀行が西アフリカで流行が拡大しているエボラ出血熱の封じ込めに向けてギニア、リベリア及びシエラレオネの3か国に最大2億米ドル（約205億円）の緊急支援を発表 |
| | | 7日 | オバマ米国大統領がイラクへの限定空爆を承認。8日よりイラクのエルビル近郊で空爆開始 |
| | | 8日 | WHOが西アフリカにおけるエボラ出血熱の感染が「国際的に懸念される公衆の保健衛生上の緊急事態」に該当すると発表 |
| | | 10日 | トルコで大統領選挙実施。エルドアン首相が勝利 |
| | | 14日 | ローマ法王が25年ぶりに韓国訪問。朴槿恵大統領と会談 |
| | | 15日 | 国連安保理がISILに資金や武器などを供給する個人や団体を制裁対象にするとの決議を全会一致で採択 |
| | | 21日 | タイ国家立法議会がクーデターで全権を掌握した「国家平和秩序評議会（NCPO）」議長のプラユット陸軍司令官を首相に指名（31日、全閣僚を国王が承認し、政権発足） |
| | | 26日 | エジプトの仲介でパレスチナ・イスラエルが停戦受け入れ |
| 9月 | | | |
| 6日 | 安倍総理大臣がバングラデシュ及びスリランカを訪問（～8日） | 5日 | ロシア、ウクライナ、欧州安全保障協力機構（OSCE）及び分離派武装勢力がウクライナ東部の和平実現に向けた措置で合意（ベラルーシ・ミンスク） |
| 8日 | 岸田外務大臣がドイツを訪問（～9日） | 7日 | インド北部及びパキスタン北東部において、大規模な洪水が発生し、682人が死亡、約373万人が被災 |
| 12日 | 「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム」開催（～13日、東京）。安倍総理大臣及び同令夫人、岸田外務大臣、有村女性活躍担当大臣が出席 | 8日 | イラクでアバーディー新政権発足 |
| | | 10日 | オバマ米国大統領がシリア領内のISILへの空爆を承認したと発表 |

| 日本関係 | | 国際関係 | |
|------|---|------|--|
| | | 18日 | 英国においてスコットランド独立の是非を問う住民投票実施。反対55.25%、賛成44.65%で独立否決 国連安保理が、エボラ出血熱流行について「国際社会の平和と安全に対する脅威」とする決議を採択し、各国に対応を促す決議を全会一致で採択 国連総会が国連エボラ緊急対応ミッション（UNMEER）の創設に関する決議を採択 |
| 21日 | 岸田外務大臣が国連総会に出席（～27日、米国・ニューヨーク） | 19日 | フランス軍がイラクでISILに対する初の空爆を実施 |
| 22日 | 安倍総理大臣が国連総会出席（～26日、米国・ニューヨーク） | 21日 | イスラム教シーア派系組織ホーシー派がイエメンの首都サヌアを制圧 |
| 23日 | 安倍総理大臣が国連気候サミットで演説 | 22日 | 2017年の香港行政長官選挙の制度改革で中国が民主派を事実上排除する決定をしたことに抗議し、香港の大学生や専門学校生らが授業ボイコット開始。28日未明、民主派団体が「セントラル占拠」の開始を宣言し、抗議者が路上占拠を本格化（12月15日まで継続） 米国国防総省が、米軍などがシリア領内のISIL等への空爆開始と発表 |
| 24日 | 安倍総理大臣が第2回日・アフリカ地域経済共同体（RECs）議長国首脳会合を主催 岸田外務大臣がシリア政治プロセス閣僚会合に出席 | 26日 | 英国下院がISILを標的とした米軍主導のイラク空爆への参加を承認 |
| 25日 | 安倍総理大臣が国連総会で演説 安倍総理大臣が国連エボラ出血熱流行対応ハイレベル会合に出席 安倍総理大臣が日・太平洋島嶼国首脳会合に出席 安倍総理大臣がバイデン米副大統領等とともに国連平和維持活動（PKO）ハイレベル会合を共催 | 29日 | アフガニスタンのガーニ元財務相が新大統領に就任し、大統領選挙を戦ったアブドゥラー元外相が行政長官に就任。同国史上初の選挙による政権交代 |
| 26日 | 岸田外務大臣が安保理改革に関するG4（日本、ブラジル、ドイツ、インド）外相会合に出席（米国・ニューヨーク） | 30日 | 英国軍がイラクのISILに対する初の空爆を実施 |
| 29日 | 日朝外交当局間会合を開催（中国・瀋陽） | | |
| 30日 | 秋篠宮同妃両殿下がグアテマラ及びメキシコを御訪問（～10月10日） | | |
| 10月 | | | |
| 1日 | 四国海盆海域及び沖大東海嶺南方海域における延長大陸棚を設定する政令が施行 | 3日 | スウェーデンでロベーン新政権発足 |
| 5日 | 科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）開催（東京）。皇太子殿下が閉会式に御臨席（7日）、安倍総理大臣が出席 | 4日 | 北朝鮮高官が韓国を電撃訪問 |
| 7日 | スウェーデンの王立科学アカデミーが、青色LEDを開発した赤崎勇名城大学終身教授、天野浩名古屋大学教授及び中村修二カリフォルニア大学教授の3人にノーベル物理学賞を授与すると発表 | | |
| 8日 | 韓国のソウル中央地検が、朴槿恵大統領への名誉棄損罪で産経新聞ソウル支局長を在宅起訴 | | |

国際社会及び日本の主な動き

| 日本関係 | | 国際関係 | |
|------|---|------|--|
| 12日 | ガザ復興支援会合に中山外務副大臣が出席（エジプト・カイロ） | 15日 | ネパールのヒマラヤ山脈で大規模な雪崩が発生。18日までに43人の死亡が確認、100人以上が行方不明。邦人3人が死亡 |
| 16日 | 安倍総理大臣が第10回アジア欧州会合（ASEM）首脳会合に出席（～17日、イタリア） | 22日 | カナダの首都オタワにある戦没者慰霊碑で男が警護中の兵士を撃ち連邦議会議事堂に侵入。警察が兵士と犯人の計2人が死亡と発表 |
| 27日 | 政府担当者を平壤に派遣し、北朝鮮の特別調査委員会との協議を実施（～30日） | 26日 | ウクライナ最高会議（議会）繰り上げ選挙 |
| 31日 | 日銀が金融政策決定会合でマネタリーベース増加額の拡大、資産買入れ額の拡大等の追加金融緩和を決定 | 31日 | スウェーデンがパレスチナを正式に国家承認。EU主要国で初 |
| 11月 | | | |
| 7日 | 岸田外務大臣がAPEC閣僚会議に出席（～9日、北京） エボラ出血熱への対応として新たに最大1億米ドルの支援を行うことを発表 | 1日 | ウクライナ・EU連合協定の暫定適用の開始 欧州委員会委員長にユンカー前ルクセンブルク首相が就任 |
| 9日 | 安倍総理大臣がAPEC首脳会議（～11日、中国）、ASEAN関連首脳会議（12、13日、ミャンマー）及びG20ブリスベンサミット（15、16日、オーストラリア）に出席 | 2日 | ウクライナ東部の分離派武装勢力が「選挙」を実施 |
| 15日 | 第4回日・カリコム外相会合開催（東京） | 4日 | 米国で中間選挙実施。共和党が上下両院で過半数を占める |
| 16日 | 安倍総理大臣が日米豪首脳会談に出席 | 5日 | アルアクサー神殿にてイスラエル治安当局とイスラム教徒間で大規模な衝突発生 |
| 17日 | 「国際協力60周年」記念シンポジウム開催（東京）。岸田外務大臣が出席 | 10日 | 韓中FTAの実質的な妥結宣言 |
| 21日 | 衆議院が解散 | 18日 | エルサレムでパレスチナ人がユダヤ教礼拝所を襲撃。19日までに犯人2人を含む5人が死亡 潘基文国連事務総長が設置した国連平和活動（PKO及び特別政治ミッション）に関する戦略的見直しのためのハイレベル・パネルが活動開始 |
| | | 20日 | モンゴルでサイハンビレグ新首相就任 |
| | | 24日 | EU3+3とイランが核問題に関する交渉を2015年6月30日まで延長 |
| | | 29日 | 2011年にデモ隊殺害を命じた罪に問われていたムバラク元エジプト大統領に無罪判決 |
| 12月 | | | |
| | | 1日 | 欧州理事会議長にトゥスク前ポーランド首相が就任 |

日本関係

- 8日 エボラ出血熱対策のため自衛隊機にて個人防護具 (PPE) をガーナまで輸送
- 11日 皇后陛下がベルギー元国王妃ファビオラ陛下葬儀に御参列のため同国へ御旅行 (ブリュッセル) (~13日)
- 14日 第47回衆議院議員総選挙
- 16日 人身取引対策行動計画2014の決定及び人身取引対策推進会議の開催の決定
- 24日 第3次安倍内閣が発足

国際関係

- 2日 ウクライナで第2次ヤツェニューク内閣発足
- 5日 ベルギー元国王妃ファビオラ陛下が御崩御
- 11日 香港警察が民主派デモ隊の最大拠点からデモ隊を強制排除。道路占拠が事実上終結
- 13日 米国上院が2015年度予算案を可決。政府機関閉鎖を回避
- 15日 オーストラリアのシドニーで武装した男がカフェで人質をとって立てこもり。16日に警官隊突入。人質2人が死亡
- 16日 パキスタンのペシャワールで軍が運営する学校を「パキスタン・タリバーン運動」が襲撃。約150人が死亡
米国及びキューバが、1961年以来断絶している外交関係再開に向けた協議の開始を発表
- 18日 国連総会本会議において、日本とEUの共同提案による北朝鮮人権状況決議を賛成多数で採択 (10年連続10回目)
- 23日 国連安保理において、人権状況決議を含む「北朝鮮の状況」を初めて議題として採択
- 24日 武器貿易条約 (ATT) 発効
- 28日 インドネシア発シンガポール行きエアアジア航空エアバス320がジャワ海に墜落、日本を含む各国が捜索活動
- 31日 アフガニスタンで活動していたNATO主導の国際治安支援部隊 (ISAF) が任務を終了し、治安権限がアフガニスタン政府に移譲